

北部機械金属業界の景況動向

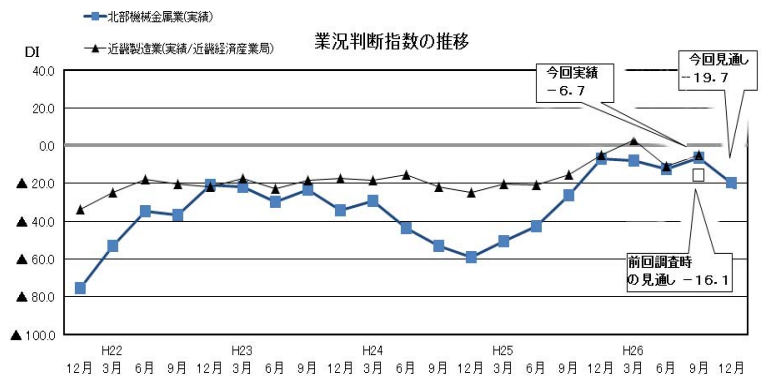
(2014年7~9月実績/2014年10~12月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業188社 【調査時点 平成26年9月下旬】
- 回答数：132社（回答率70.2%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:28、舞鶴市:21、綾部市:22、宮津市・与謝郡:10、京丹後市:51
 - ②取扱別 = 一般機械:51、電気機械:18、輸送機械:30、精密機械:15、その他:18
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:38、10~19人:29、20~49人:37、50~99人:14、100人以上:14
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

－ 調査結果 －

1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は-6.7となり、前回調査(4~6月分。以下「前回」という。)より5.6ポイント改善した(前回-12.3)。福知山市域は-7.1(前回-3.7)、舞鶴市域は0.0(前回-18.2)、綾部市域は-27.3(前回-23.8)、宮津市・与謝郡域は-20.0(前回-25.0)、京丹後市域は2.1(前回-6.2)であった。福知山市域と綾部市域はDIが悪化したが、その他の地域では改善している。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●10~12月見通しのDIは-19.7と、前回より3.6ポイント悪化した。(前回-16.1)。地域別に見ると、福知山市域は-14.4(前回11.1)、舞鶴市域は-38.0(前回-27.3)、綾部市域は-27.3(前回-38.1)、宮津市・与謝郡域は-10.0(前回-50.0)、京丹後市域は-13.6(前回-8.3)であった。このように綾部市域と宮津・与謝郡域以外の地域で前回と比べて悪い見通しとなっている。

景況動向判断 7~9月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	0.8	19.7	52.3	24.2	3.0	-6.7
福知山市	14.3	64.3	14.3	7.1		-7.1
舞鶴市	23.8	52.4	23.8			0.0
綾部市	13.6	45.5	40.9			-27.3
宮津・与謝		80.0	20.0			-20.0
京丹後市	2.0	27.5	43.1	23.5	3.9	2.1

景況動向判断 10~12月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	0.8	9.8	59.1	26.5	3.8	-19.7
福知山市	7.1	71.4	17.9	3.6		-14.4
舞鶴市	4.8	52.4	38.1	4.7		-38.0
綾部市	13.6	45.5	36.4	4.5		-27.3
宮津・与謝	10.0	70.0	20.0			-10.0
京丹後市	2.0	11.8	58.8	23.5	3.9	-13.6

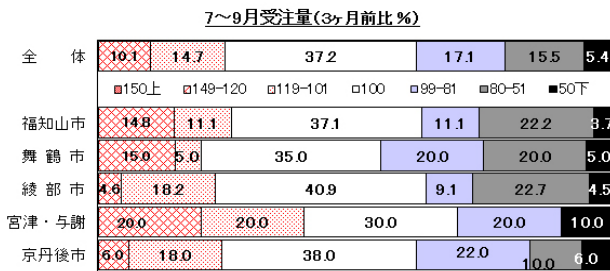
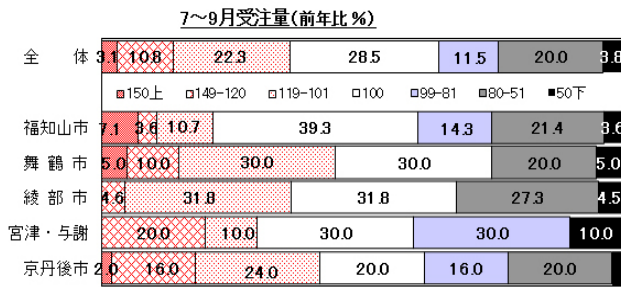
2 採算状況

●7~9月の採算状況は、全体では、赤字とする企業が2.0%（前回20.8%）と増加した。地域別には京丹後市域以外で前回調査時より黒字企業が減少し、宮津・与謝郡域では黒字企業が皆無となった。依然として厳しい状況が続いている。

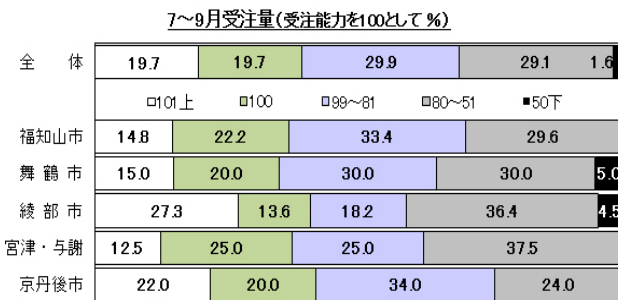
7~9月採算状況

地域	黒字	トントン	赤字
全体	25.0	53.0	22.0
福知山市	28.6	57.1	14.3
舞鶴市	19.1	61.9	19.0
綾部市	22.7	40.9	36.4
宮津・与謝		60.0	40.0
京丹後市	31.4	51.0	17.6

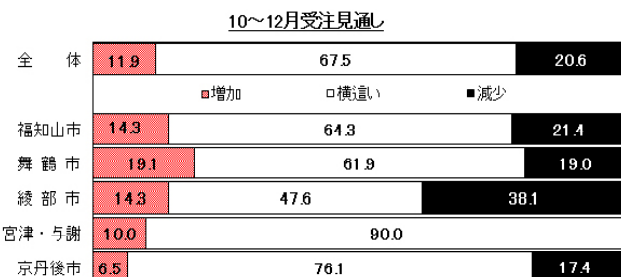
3 受注量



- 7~9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は64.7%（前回68.0%）と3.3ポイント減少した。対3か月前比100%以上を確保した企業は62.0%（前回64.9%）と2.9ポイント減少した。地域別には、宮津市・与謝郡域は7割の企業が、福知山市域、綾部市域、京丹後市域では6割以上の企業が3か月前比100%以上の受注を確保している。

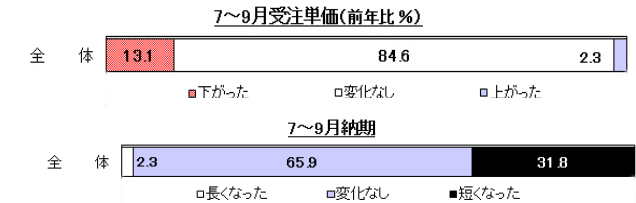


- 7~9月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は39.4%（前回36.8%）と2.6ポイント増加した。一方、全ての地域で6割前後の企業が受注能力100%以上の仕事を確保しておらず、まだ生産余力がある。



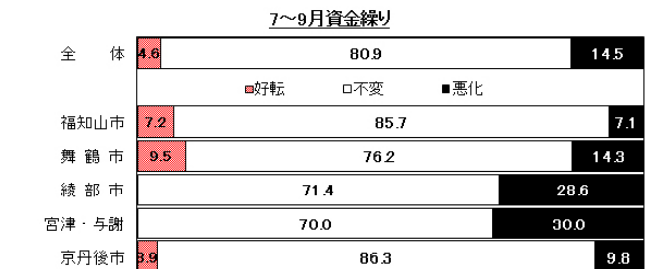
- 10~12月の受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合は11.9%（前回14.0%）と2.1ポイント減少し、減少を見込む企業の割合は20.6%（前回14.7%）と5.9ポイント増加した。地域別では綾部市域で、減少を見込む企業が38.1%（前回19.1%）と19.0ポイント増加した。

4 受注条件（受注単価／納期）



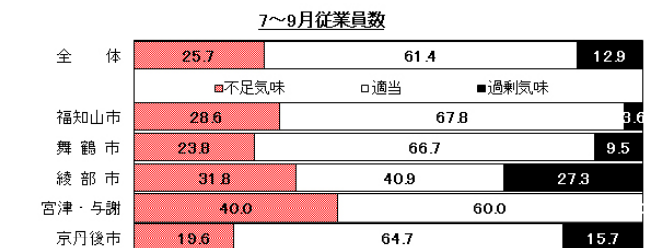
- 受注単価が下がったとする企業は13.1%（前回7.8%）と、5.3ポイント増加、受注単価が上がったとする企業は2.3%（前回2.3%）と同率であった。納期が短くなったとする企業は31.8%（前回32.3%）と0.5ポイント減少した。

5 資金繰り



- 資金繰りは、悪化とした企業が14.5%（前回12.3%）と前回より2.2ポイント増加した。綾部市域、宮津・与謝郡行域では好転とした企業は皆無であり、悪化とした企業の割合は宮津・与謝郡域が最も高く3割に達している。

6 従業員数



- 従業員数は、不足気味が25.7%（前回27.7%）、過剰気味が12.9%（前回12.3%）となった。全地域において、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っており、人手不足の状況がうかがえる。